

○ 本校の概要

本校は昭和22年に開校し、私鉄の4駅に囲まれた交通至便な住宅街にあり、現在は11学級、全校生徒375名の中学校である。敷地は風致地区内にあり、自然に溢れ、4月には校庭も一面の花で覆われる。平成31年度にオープンした勝海舟記念館とともに、隣接して区民の憩いの場である周囲を15分ほどで歩ける風光明媚な洗心池があり、運動会の長距離走ではここがコースとなっている。生徒たちはこの池にホテルを自生させる活動に取り組み、毎年その風情が地域の方から喜ばれている。また、落ち葉を集めて作ったミズンポスト、夏の陽射しをささえこむゴーヤのグリーンカー、さらに近隣の大岡山駅の駅前花壇メンテナンス等も行っている。教育目標は〇気品のある生徒の育成 〇実力のある生徒の育成 〇健康の優れた生徒の育成の3つを掲げている。教育活動は、2011年にユネスコスクールに加盟し、地域を「屋根のない学校」として捉え、地域の人々としてをモットーに地域の中で、地域の人々と共に、地域のために、環境を保全する環境教育や、災害に立ち向かう場所としての防災教育を中心に、国際理解・交流教育、地域連携教育、人権・人命尊重・平和教育を行い、生徒の自己有用感、自己肯定感を育んでいる。自分の育った地域に愛着を持ち、郷土愛を育み、将来の日本、世界の様々な課題を考解決して、心豊かに生きていく基盤となる教育実践を行うことで、SDGsを到達目標としながら、20年・30年後の持続可能な社会の担い手を育てる持続発展教育(ESD)を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

Table with 10 columns: 大項目, 目標, 取組内容, 取組指標, 取組評価, 目標に対する成果指標, 成果評価, これまでの取組今後の改善策, 学校関係者記入欄 (評価, 人数, コメント). Rows include categories like '未来社会を創造的に生きる子供の育成', '児童・生徒一人ひとりの学が意欲を高め、確かな学力を定着させます', '子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成する', 'スポーツに親しむ心や運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします', '児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境づくり', '学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指す。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります'.

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめる。
○学校関係者評価の「評価」は、A：自己評価は適切である B：自己評価はおおむね適切である C：自己評価は適切ではない D：評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。